

行政視察報告書

令和6年 11 月 12 日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 岩川 信子

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度産業建設常任委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和6年11月5日(火)～11月6日(水)
3. 視察場所及び目的
 - ①茨城県日立市
ひたちBRTについて
 - ②栃木県栃木市
産業団地の整備について
4. 調査内容感想等

・視察の目的

1. ひたち BRT について・日立が導入した「ひたち BRT」(バス高速輸送システム) 持続可能な交通インフラとして注目されています。BRT は専用の車線や停留所を使用することで、従来のバスよりも高速かつ安定した運行が可能であり、渋滞を避け、利便性向上や環境への配慮を重視したまちづくりである。
長浜市は、JR 西日本と、バス、タクシーなどの交通利用とし、コロナ禍から JR 本線も便が減り、日立市とは環境が違ふものの、どのように BRT を通じて市民生活の質の向上や地域の発展に貢献されているか学ばせて頂き、長浜市でも、市民の交通利便性向上や環境負担の低減を目指して行く事を課題として考える。
この日立市視察は、副委員長からの強い要望でもあり、我が市とは立地的背景が違ふものの、長浜市における持続可能な交通システムの構築を参考とし、交通政

策への応用可能性を検討することとして視察を行った。

2. 産業団地の整備について・栃木市は産業誘致および地域経済の発展を目視し、平川団地およびインター産業団地の整備と活用を推進しています。今回の視察はこれからの産業団地の現状を確認し、企業誘致に向けた環境や支援体制、課題を把握することで、地域の産業振興への理解を深める事を目的としました。

・視察内容

1. ひたちBRT:「日立市BRT」は公共交通利便向上と交通渋滞の緩和を目的とされ2020年に導入されている。地域の交通の効率化と高齢化対策、観光振興にも目指している。

幹線道路の一部にバス専用レーンを設置し、交通渋滞の影響を軽減し、BRT車両がスムーズに通行できるよう、交差点では優先信号システムを導入し、また一部に低排出ガス車両を採用し、環境への配慮を強化されている。

導入により、定時性の移動速度が向上し、車を持たない高齢者にとって、重要な移動手段となっている。観光客にも利用され、観光地へのアクセスが改善されたとのことである。



日立市役所

← 議場

研修→



2. 栃木市産業団地：栃木市は優れた地理的条件や交通アクセス、豊富な自然環境を生かし、産業誘致の促進に取り組んでいる。関東圏内でも主要な交通の要所に位置しています。北関東自動車道や東北自動車道など主要高速道路へのアクセスが良好に加えて、鉄道や国道のインフラも充実しているため、物流面での利便性が高く、インター産業団地に進出する企業には、栃木市から支援制度が整備されています。

また平川産業団地は、栃木市のフードバレー構想に関連して整備されているので、地域資源を活用し、農業や食品産業の発展を通じて地元経済を活性化することを目指し、食品関連企業の誘致を通じて 農業生産物加工・流通の効率化を図り、地域の農産物の付加価値向上を促進している。

何より驚かされたのは、企業誘致の現状や、成功例を拝聴していると、栃木市東京サテライトオフィスの活用促進に向けた取組みをしていることに驚かされました。サテライトオフィスは、都市部の本社から離れて働く環境を提供し、特にテレワークやワーケーションの重要増加に応える形で、各地で増加傾向にあり、栃木市においても、サテライトオフィスは新たなビジネス拠点として注目されています。企業側にとっても、都市部に比べて賃料も安くコスト削減にもなり、自然豊かな環境での仕事はストレス軽減や生産性向上にも寄与され、従業員の地域交流や地元産業への貢献により、企業イメージが向上されている。

栃木市役所

議場

研修



行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

1. 「ひたちBRT」の成功例から多くの示唆がえられました。

長浜市でも今後の課題として、高齢者や交通弱者の移動手段の確保は必要と考えています。将来的に自動運転バスの導入を可能とするならば、適用可能なルートを選定し、実現性を調査する必要があると考えますが、しかし安全性と市民の理解を優先的に、段階的な導入を当然考え進めて行く必要があります、実証実験を通じて市民のニーズにあったモデルを構築することが重要と考えます。

また、長浜市内の主要交差点に、バスが接近した際に信号制御するシステムを導入することは、公共交通の利便性を高めるので、参考にしたい案件であると思います。



(気づき)

[日立市役所の議場には、親子連れが議会を傍聴できるような小部屋（親子室）が設置されていた。防音仕様のガラス越しに議場の様子を視聴し、音声スピーカーで聞けるようになっている。子どもの声や動きが議会の進行に影響を与えることを防ぎ、このような工夫により小さな子ども連れの市民が気軽に議会に参加でき、政治への関心を持つきっかけを作られていた。

長浜市も日立市役所の事例を参考に親子連れの傍聴室を導入することで、子育て世代が議会を身近に感じ、地方政治への関心を高めるきっかけにもなり、将来的に子どもたちが地域の政治や市政に関心を持つ習慣を育む事が期待されると私は考えます。議員活動が市民にとっても開かれたものとなり、長浜市議会が市民参加型の先進事例を生み出すこととなり、次世代の市民育成にもつながり、長期的に地域社会の活性化に貢献すると私は思う。]

2. 栃木市での産業団地や、企業誘致、サテライトオフィスの誘致などについては、長浜市としても北陸自動車道や湖西道路などの交通網の近接性を活かし、産業団地を整備して企業誘致を促進させる。交通の優位性を活かすこと！
栃木市では、地下水の豊富さや災害のリスクの低さを強調し、食品関連産業の誘致を推進し、地域の農業基盤と連携した開発が地域経済を活性化させていた
そこで長浜市でも、湖北地域の豊かな自然や農産物を活用し、食品加工観光産業の企業誘致を推進し、また災害リスクも長浜市も低く、企業にとって安心して事業が行える環境を整備し、立地条件を強調アピールしていく事が重要だと感じ
もし、長浜市にもサテライトオフィスを誘致すると考えるならば、初めてオフィスを設置する企業へは補助金制度を導入し（移転コストの軽減、事務所整備や通信費整備などの設置）企業の長浜市進出を後押しする事が必要かと思う。
また、空き家や、空き施設を利用活用することも試みてはどうかと考える。